

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・
指定都市名

山口県

地域名

下松市久保地域

人権課題

インターネットにおける人権侵害

目標・人権教育
のねらい

- ・子どもと地域住民がともに活動することで、地域を大切にしようとする気持ちを醸成する。
- ・ICTも活用した多様な他者との関わりを通して、自他の人権を大切にしようとする意識の向上を図る。

各組織の動き・役割等

人権教育総合
推進会議

山口県教育委員会
下松市教育委員会
各学校長
各学校PTA会長
各学校運営協議会会長
学校支援チーム顧問
人権擁護委員
民生委員
公民館長

めざす
子どもの
姿の共有
取組の
評価取組の
実践

実務担当者会議

企画運営会議

学校・地域連携カリキュラムによる取組

- ・中学生が講師のスマホ教室の開催
- ・敬老会等での啓発

下松市立久保中学校

- ・インターネットにおける人権侵害に関する学習
- ・生徒総会で「インターネット人権宣言」の採択
- ・課題解決に向けた啓発動画の作成

「インターネット人権宣言」、啓発動画の小学生への紹介

児童生徒と地域住民による交流活動
小中合同学校運営協議会における熟議

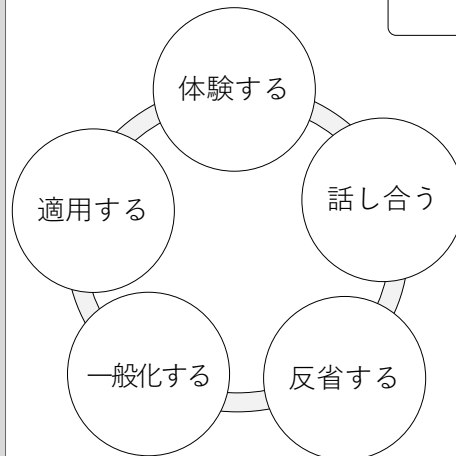
下松市久保地域

- ・学校行事への参加
- ・スマホ教室への参加

下松市立久保小学校・下松市立東陽小学校

- ・インターネットにおける人権侵害に関する学習
- ・地域行事への参加

人権感覚を養う学習サイクル



体験する	話し合う	反省する	一般化する	適用する
各教科、道徳、特別活動等での学習 多様な体験活動の充実	対話の充実 ・聴く力 ・伝える力	振り返りの充実（アンケートの実施）	「インターネット人権宣言」の作成 他者に配慮した思いやりの行動等による啓発	新たな知識の獲得 コミュニケーション能力の向上 人間関係調整力

令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

校種間連携の概要

小中連携カリキュラムを基に取組を進めた。小中合同学校運営協議会に小学生と中学生が参加して、「心優しい街づくり」に向けた取組について話し合い、具体的な活動を提案した。中学生が作成した「インターネット人権宣言」や啓発動画を小学生に広く紹介した。また、中学生が小学生との交流を深めるために、レクリエーションや学習支援等を行うサマースクールを企画・運営した。こうした取組を通して、自他を尊重しようとする人間関係の醸成や校種間で人権課題に対する意識の共有を図ることにつながった。

地域・関係機関との連携の概要

学校・地域連携カリキュラムを基に、児童生徒と地域住民が連携・協働活動を行った。生徒を講師とする地域住民対象のスマホ教室を実施した。また、中学生がインターネットを正しく使用する上での留意点について解説した啓発動画を作成し、敬老会等で啓発した。こうした取組を通して、人権課題について地域社会全体で話し合い、解決に向けて取り組んでいく意識の高まりにつながった。

事業成果

取組後のアンケートで、次のような変容が見られた。

【知識的側面】 インターネットにおける人権侵害は、どんな理由があってもいけないことだと思う。	3.4→3.7
(生徒の感想) <ul style="list-style-type: none"> 自分にはあまり関係のないことだと思っていたけれど、今は、身近な問題として、自分のこととして考えられるようになった。 もしかしたら、自分が知らない間に加害者になっているかもしれないと思うようになった。 	
【技能的側面】 インターネットでメッセージを送る際に、確認してから送る。	2.6→2.7
(生徒の感想) <ul style="list-style-type: none"> メッセージのやり取りや投稿で、相手のことを考えて言葉や内容に気を付けるようになった。 インターネット上では、一瞬で人を傷つけたり被害にあったりすることが分かり、もっと考えて送信や発信をしたいと思うようになった。 	
【価値・態度的側面】 友人との間で問題が起きたときに、解決するために行動しようと思う。	3.4→3.4
(生徒の感想) <ul style="list-style-type: none"> インターネットにおける問題は、自分たちの行動で減らすことができることが分かった。 地域の人と一緒にインターネットにおける問題を解決していきたいと思った。 	